

国保特定健診

(問診、身体計測、検尿、血圧、血液検査、心電図、内科診察) 40～74歳※無料

※2027.3.31時点年齢

※受診日において串本町国民健康保険の資格を喪失されている場合は、受診できません。



■ 血液検査の正確性を考慮し、前日の夜9時以降は何も食べずにお越しください。

水分補給が必要な方は、糖分を含まないお水・お湯・白湯に限りです。

■ 検尿は起床後朝1番の尿を提出してください。

■ 血圧・心臓・心療内科・精神の薬は、お水で服用してください。血糖の薬は飲んではいけません。

■ 生理中の方は、尿検査結果が正しく判定されないこともある為、別日程への変更をおすすめします。

■ 腹囲測定等がありますので、ボディスーツなどは避けて軽装でお越しください。

■ 受診された方には後日、結果説明会を実施します。健診結果に異常がない方については郵送します。

がん検診を受診される方へ

(がん検診は自覚症状のない方が受ける検査です)

■ 検診の種類によって、毎年、隔年と受ける間隔は違いますが、定期的に受けることが大切です。しかし、気になる自覚症状が現れた場合は、次の検診まで待たずに医療機関を受診してください。

■ 検診で「要精密検査」となった場合は、早急に医療機関を受診し、精密検査を受けてください。

■ がんを早期に発見することができれば、完治する可能性は非常に高く、治療も軽くすむことが多いです。しかし、がん検診で100%がんが見つかるというわけではありません。がんの部位や種類によっては見つけにくいことがあり、まれに見落とすことがあります(偽陰性)。

■ 検診は町と健診機関・医療機関が連携して行っています。

精密検査の結果は町と健診機関・医療機関で共有しています。

※ すべての検診において妊娠中又は妊娠の可能性のある方は受診できません。



胃がん検診

(バリウムを飲むレントゲン検査) 50歳以上・隔年/500円

■ 胃がんに罹患する人は50歳代以降に多く、わが国のがんによる死亡原因の上位に位置するがんです。

■ 当日の朝は絶食で、アメ◎・ガムも食べないでください。

※前日の夕食は、午後9時までに済ませておいてください。

■ 検査を受ける2時間前までに200ml程度のお水・お湯の飲用をおすすめします。

■ 血圧・心臓・心療内科・精神の薬は、2時間前までにお水で服用してください。誤って血糖を下げる薬を飲んできた場合は、検診をすべて中止しお帰りいただきます。

■ 朝から検査終了まで禁煙してください。禁煙を守られていない場合は検査できません。

■ 当日血圧測定を行い、血圧の高い方(180/110を超える方)は受診できません。

■ 血圧の高い方、既往歴・現病歴によっては、検査前に診察を受診していただく可能性があります。

■ 以下の既往、現病等ある方、もしくは該当する場合、集団検診は受診できません。

医療機関での個別検診に変更し、医師にご相談ください。

※ 腸閉塞、腸捻転、胃・腸切除(虫垂を除く)、大腸憩室、胃穿孔、潰瘍性大腸炎の既往のある方

※ バリウムを飲んでアレルギー症状(じんましん、気分が悪い、顔色が青白くなる等)がある方

※ ペースメーカー及びICD(植え込み型除細動器)、人工肛門(ストーマ)を装着している方

※ 消化管の病気(胃・大腸ポリープ切除術も含む)の術後1年以内の方

※ 便秘症(検査当日前より3日間以上排便がない)の方

※ 心筋梗塞や脳梗塞等の発作後・てんかん発作後が1年以内の方

※ 腎臓病や心臓病や透析等の病気で水分制限のある方

※ 水やお茶を飲んでのどにつかえたり、むせたりするなど誤飲の恐れのある方

※ 体重が120kg以上の方(装置の重量制限のため)

※ 麻痺がある方

※ 体位変換が困難な方(自力で立位を保持できない、撮影台の手すりを自分で持てない等)

※ 認知症の方



【精密検査の方法】

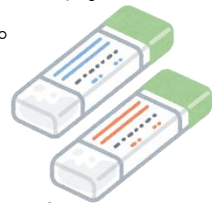
内視鏡(胃カメラ)検査、組織を採取し検査

裏面もご確認ください

大腸がん検診

(便潜血反応検査) 40歳以上/200円

- 大腸がんは罹患する人が増加しており、わが国のがんによる死亡原因の上位に位置しています。
- 検診日から7日以内の便を2日分採って冷暗所(冷蔵庫)に保管の上、提出してください。
- 便秘等でやむを得ない場合は、1本のみの提出も可能です。
- 容器、提出袋には必ず、氏名、採便日を記入してください。
- ✕ 生理中の方は、血液が混入する場合があります。正確な検査結果となりませんので、別日程に変更してください。
- ✕ 痔等の出血症状がある方は受診できません。受診希望の場合は、痔等の治療後となります。



【精密検査の方法】

全大腸内視鏡検査(肛門から内視鏡を入れ、大腸に異常がないかを観察します)

※精密検査として便潜血検査を繰り返し行うことは、がんの見落としにつながりますので、内視鏡検査を受けましょう。



肺がん検診

(肺のレントゲン検査) 40歳以上/無料

- 肺がんはわが国のがんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
- 服装はボタン、金具、チャックのない無地の服を着用してください。
- ブラジャー、コルセット、磁器性の貼付薬、湿布は外してください。
- ✕ 血痰(痰に血が混じる)の自覚症状がある方は受診できません。早急に医療機関を受診してください。

【精密検査の方法】

CT検査、気管支鏡検査(ファイバースコープという細い管を口から挿入し気管や肺を観察します)

子宮頸がん検診

(子宮頸部の細胞診検査) 20歳以上・隔年/500円

- 子宮頸がんは罹患する人がわが国の女性のがんの中でも比較的多く、また30~40歳代の女性で近年増加傾向にあります。
- スカート等での受診をおすすめします。
- 検査後に出血する可能性がありますが、ご了承ください。
- ✕ 生理中の方、子宮筋腫等で子宮全摘出をされている方は受診できません。
- ✕ 不正性器出血等の症状がある方は受診できません。検診ではなく産婦人科を受診してください。



【精密検査の方法】

コルポスコープ診(子宮頸部の粘膜表面を拡大し、細かい部分を観察します)

乳がん検診

(マンモグラフィ2方向) 40歳以上・隔年/700円

- 乳がんは罹患する人がわが国の女性の中でも多く、がんによる死亡原因の上位に位置します。
- 多少の痛みを生じる場合があります(特に生理中は痛みが強くなる場合があります)。
- 上半身の衣服を脱いでいただきますので、脱ぎ着しやすい服装でお越しください。
- 撮影前にネックレス、ペンダントなどは外し、肩につくような長い髪の方は、上の方で束ねてください。
- 制汗剤(銀イオンパウダーなど)は、目に見えなくても写真に写りますので、使用を控えてください。
- 以下に該当する場合、乳がん検診は受診できません。
- ✕ 豊胸手術(脂肪注入、シリコン注入、シリコンパックなど)や乳房再建術を受けた方
- ✕ ペースメーカー及び除細動器を装着されている方、皮下埋込式ポート挿入中の方やシャント施行の方
- ✕ 授乳中又は断乳後3か月以内の方、乳がん手術後10年以内の方



【精密検査の方法】

マンモグラフィの追加検査、超音波検査(エコー)

穿刺吸引細胞診(病変部に直接細い針を刺して、注射器で吸い出した細胞を顕微鏡で観察します)

針生検(細胞診よりも太い針を病変部に刺し、組織の一部を取り出して検査します)